

令和7年度全国学力・学習状況調査

－相模原市の結果概要－

令和7年度全国学力・学習状況調査の本市の結果概要をお知らせします。本調査においては、小学校6年生・義務教育学校6年生及び中学校3年生・義務教育学校9年生に対し、教科調査、児童生徒質問調査が行われたほか、学校に対し、学校質問調査が行われました。

1 調査の対象と教科調査の実施教科 ※CBT：コンピュータを用いて行われる学力調査

- 小学校6年生及び義務教育学校6年生 … 国語、算数、理科
- 中学校3年生及び義務教育学校9年生 … 国語、数学、理科（CBT）

2 教科調査の平均正答数、平均正答率、平均 IRT スコア

小学校・ 義務教育学校 (前期課程)	国語		算数		理科	
	14 問		16 問		16 問	
	正答数(問)	正答率(%)	正答数(問)	正答率(%)	正答数(問)	正答率(%)
相模原市	9.4	67	9.2	57	9.8	58
神奈川県	9.3	66	9.4	59	9.7	57
全 国	9.4	66.8	9.3	58.0	9.7	57.1
相模原市－全国	±0	+0.2	-0.1	-1.0	+0.1	+0.9

中学校・ 義務教育学校 (後期課程)	国語		数学		理科
	14 問		15 問		IRT スコア
	正答数(問)	正答率(%)	正答数(問)	正答率(%)	
相模原市	7.7	55	7.5	50	509
神奈川県	7.6	55	7.6	51	510
全 国	7.6	54.3	7.2	48.3	503
相模原市－全国	+0.1	+0.7	+0.3	+1.7	+6

※ 本市及び神奈川県の平均正答率は整数値で示しています。

※ 中学校理科調査は、タブレット PC を使って行われ、学校ごとに異なる問題を解いています。そのため、調査結果は平均 IRT スコアをもとに示しています。

IRT (Item Response Theory) とは、児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。詳細は、文部科学省 Web ページをご覧ください。

3 本市の結果について

本市と全国の平均正答率、平均 IRT スコアを比較すると、全国と同程度となっています。

今後、調査結果をさらに詳細に分析するとともに、教員に対して研修を実施するなど、指導力の向上に努めます。なお、本調査における教科調査と児童生徒質問調査の結果は、市ホームページで公表いたします。

学力の向上に関する取組

- ・ 分析資料の作成、学校への提供
- ・ 授業づくりに関する研修の実施
- ・ 指導や支援を充実させるための人的配置
- ・ 基本的生活習慣の確立や家庭学習習慣の定着に向けた取組の実施
- ・ 学校ごとの結果分析を支援

お問合せ先
相模原市教育委員会
学校教育課
042-769-8284

本調査の詳細資料は国立教育政策研究所Webページをご覧ください。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>